朝鮮總督小磯

一致の協力を要するは明かである

光榮の徴兵制

告諭には『抑々神武天皇珍彦ヲ以テ葛城ノ固 記すべき徴兵制、海軍特別志順氏

爪牙ともいふべき列國の軍隊の如きとは雲泥 蓋し日本精神の精髓はこの勅諭の中に在 質素の五ケ條にわたる御聖訓を垂れ給う

十七年五月八日であつて大東亜戦

断くして脳騒を継て気役法改正を

総比丁は兵役の名譽と認務とを正。には趙ての磯崎、凡首の訓練が事通用せらるゝに至め、名質共に朝。る郷大無適の歌劇に應へ奉るため

製作の完璧に向って

第カレ來った

一み八月一日を以て

兵役法は

朝鮮に

御競布に祖成つた事は賊と皇際の

| 過大・島際洋々たる威震に耐へな | 悪代の監事これに過ぐるものはな

日到死したのである、総営何物かせる継続を基礎とし選金の用意を

今こそ聖戰參與に蹶然起て

門及び その家庭は 安心して

朝鮮軍司令官 板垣征四郎

車の一員として晴れの資格を得ることになっ 世界に類例なき深遠なる建軍の意義をもつ皇 今や半島同胞はがくの如き悠遠なる歴史と これひとへに一視同仁の聖意に基くとこ

ろであつて、漁大無邊なる大御心のほどに が選に洩れることを最大の恥辱

かつたのである、モルダ今日よりな内地画館自然密園田町たるのや・一深げや丘猴が起大御小の様とを魅み乾みてたくく、淑雅歌歌あるの母の姿をよって一層無常になつた宛園舞師の機構をどうしょうもな」と向って譲ってい こ・この祭礼 本がしければ歌かしい様、紫波が 記念の意識を深くした、昭和十三年陸軍特別示願兵令が朝鮮に施行 極を突殺として飛鹿的に出揚した國民的自覺、支那事變、更に大東 それ立憲派も聖書門であつて、これの必を以つてして広凱派が消費され年配当人も現役文伝第一律が兵職人の道が拓かれたと伝いく、 の日は学島二千五百萬にとうて終生辰れ得ぬ威波の日であり、桑光 而も日を同じつして海軍特別志願兵制度が資施され一階感激と

澎湃たり、我ら征かんの氣魄 題民伝導しく、陛下の軍人として米英騰隊の第一殿に置い起づにと

じい武威・威をなし、半島同庭文統治の奥精神を理解し、皇國臣尽 當局者も、华島民も今日のこの繁要を暗高らかに施歌し、古今中外 たるの質を懸ぐべく努力補進を重ねて來た結果に外ならない、憍政 現朝鮮の確立を統治の根本とし、極端に、文化に、数音に、血のに て半部同胞をして名数元に豊國政民たらしめ、國際の本統に券等。道家ふに今日の繁光は計算四年為欧西ボー酸同位の配言を奉幣し

念頭におかず、寒器をいとはず、盛夜の別なく猛動線に猛闘線を重

普通、発行等の

貯銀業務兼營

合お名にないつともめわてず、まどはごるの心の画様に、身態に

す、今日茲に光楽める皇國第人た る趣能の本義に基くものでありま 得るの策略を遭ひ得たる頻解問

継州を進めるの原向を育するも 関の窓向およご福祉に併願し中 関の窓を残施し得るやり具態的

こととしたるところ、大日して中國の悪荷棚に歴せし

とり山域にある日本門的する 限税に属する

すく、自止を随り、その以前籍のある、中華に国官民がこの際家の事が、中華に国官民がこの際家

我が國は英の國力の都てを懸けて、 國家千年の威譲を決するの秋に際 法権中談税権委譲に属する日難交

意見一致の三國政府の

元ないものである。

慶の先闘をなすもので正と中國一関数算さらも素をり重ビ+発よいなし強行得なかったが決策権が実際より資子し國所数下の基準のであり、かつは5回数字だ。2種実験より資子と國所数下の基準が関する。19世の事際と 即應して東東へ子談・

で繋げて、理論る整備に「選挙を | なる兵役の制御と難し、戦長池助 | りらなほさず 安大無邊なる御歴際

a、薫葉に激ゆる学康高少年館レーならぬ、けい昨の宮頸を贈ってそー外、決職の衛相に磨と説明でも、企の光寒を略記して歌語せねば「の激励を修す「寛爽

更に陸下の股販される情景版格

の墨軍は人類の正義を誓く世界と我が國の軍隊即ら
天皇御親軍

脈なる神祇の存すること

簡単に関し出一旦 動工時宝の

治成治雷野人と対する魔治病

原作 | 日同盟 | 鐵是歐特%变|

台外法権問題に続きる中國政府

られるのも変に星國國版より發す | ことが出來るのであり、かくし こそ吸服の皿と親をもつて生活の 治法撤廢の先驅 小財政强化に寄與素素が収廢の先駆に構造の機構の機構を

隊の第一章手として既整徹の委遇、大である 中國債年の復認である市外法離議、 わが國府財滅に客興するところ茲 焼約の捌塵を繋がした帝國が今回 一般元にのぼるものと見られ、こさとに中國における一切の不平等(株)の中國側に手変される税額は約1

日午前一時半資相官邸と緊急階級

中國自强を要望

ジスト戦の元教制が中立國王に命

配後一時間にわたり重要協議を認 を開催、テセーテル司音のもとに

する語言の選択につき選択ノ三國

金の化が、三國政府

調印式で谷大使挨拶

祖界の回収に願する循政権の、

を終行した所以は治外法権職態と

【新豆竜語】腹頭荡総理は蝴維人|蝴維人に對する徹丘制度はい

て動類的な淡正であり、河に英語

半島徴兵制實施に張總理談

に御同慶の至り

荒鷲、在支米空軍基地を連爆 ハを撃墜

衡陽及建甌を連日强襲し飛行場、停車場頭に附近軍事施設工爆除、これに大いる損害を の如し、部隊は引續さ在支米空軍の各頭進基地で攻撃

撃墜せり、我方の損害 自爆四機なり

フェイノスアイレス番目同盟 マナベナを爆撃した部門是数した

ぬ の 貯蓄 率を强化

有馬●青山●太郷●三湖土部姜

る数十名の数に数し機先を制し自らい推派を没じて突入し四人を表

敵陣地奪取に偉勳 黒木少尉の武功上聞に達す

着之上沙泉部陳陳邦が教養では「原治」と「東京の奇でよりが人の音楽に「変数な変数であれしば、今数 とくらと聞き着せられた。 陸軍・省・設え表(七月ピ十一日十六時) 昭和十七年前が東沙文章において、坂瀬なる地跡を開て着に出版する電話を着げたる

近世級の水原南壁は1男を次い第7.00 立つ時(加殿近郷作)。 治く、この日、この朝われら13元。 はさて 海代のまもりと ふるしめいます。見ず、大御被原総派に 高麗つるぎ 百割の太刀を

在留邦人へ奥地を開放

きのふ中國政府外交部聲明

び原際正項であり、まづ廉約第 定記よ 本條約 は正文、附屬協 定記よ

代紙レンや言ないと信ぎるもので一点であります【名が

こして窓内前進

思くか。 で、 変えを で、 変えを

のモスコー協差は、タス通信のジ

る所以であると信ずる文第である

作人なる光楽・けら後氏制書 の園舎第神形館集の台上に黒國民(に様い難り、且つは堰国に動い事

ゲ元帥。無席確か

脚する條約調印式においる谷大庫

【南京市 | 日同盟】 誤恐權承認在 |

のとした。 をとし、次に適当さる関係を叩き超 の、たごし、次に適当さる関係を叩き超 いて何等が緊急症要領域との がでのでは、 変数形が対策をが関係とつ ないかと思うか。 ないかと思うか。 ないかと思うか。

を匿ふな戦争責任者

カ大統領ルーズベルトは常日会中カ大統領ルーズベルトは常日会中 殿事近任者を思めてからずと勝声 立國に対レムソンリーニその他の 鐵面皮の警告

◆大家龍之助氏(照館機器養成形) ・基)卅一日 与あかつまずで解認 ・基)卅一日 与あかつまずで解認 ・一日何急行『ひかり』で降級

を致した

東北京 ない これでの 日用の 日本の 規模に實施されることになり、石 電点におきの動物の一般にあられ 西世が構じられることによってあ ののであるが、今回企送整備が大 作品所用資金は企業整の資金と (注: 2 年) (注: 2 年) (注: 2 年) (注: 1 年) (注: 1

調整法第十八條の規製に基く大脈

省会第廿七號の政正省令を世上

生ることでしたいのである

れんと事みたつ若人は天野氏家庭

「上の三人は総役を関の第一級 日の欧洲と城げ東すと古間を客 を立つ三人は総役を関の第一級 日の欧洲と城げ東すと古間を客 に立つ三人は党側の歴の無から の日の欧洲と城げ東すと古間を客 といないこ人は党側の歴の無から の日の欧洲と城げ東すと古間を客 といないてもらびます。健康の方はこ 人物資町「五八瓦線網をんに関源」 小淵を除くと | 図面に扱べ年 でいてもらびます。健康の方はこ 人物資町「五八瓦線網をんに関源」 小淵を除くと | 図面に扱べ年 でいてもらびます。健康の方はこ 人物資町「五八瓦線網を合わた関源」 (小淵を除くと) 図五十七億をそうれるの様に対策です。

がペと感謝と感激を込めて金一封 がペと感謝と感激を込めて金一封

て迎へる日を待ちめぐんでゐるが

に寄託した、同住所の原本玉徒さ

を「嬉しい日を記念して々と本社」

と五回を本社に客託した【客録】

(武技を無り、 限力を與くて 晴れ

全社員の總意

人は
ク敦後町の着です
のと言つて
といって百個を客能、またもう

兵の姉妹となれる獣びに、全鮓はどよめき、心なき草木さへも蘇るかに 見える、この世紀 へられたのだ、この光榮、この威激はひとり青少年だけのものではない、 兵の父、兵の母鬪帽をかぶり、あの剣をつり、眉をあげて《われは大君のみ棚ぞ《と誇らかに云ふ資格を輿ぎひしみ、かつ墓間の兵とあとされる戮ぎつたのど、どがけふこそ全半島の若き男の子は兵となつて、あの戰員別した心になかつたか、それに男男子と言れてしかも大毘慰戦の郷かとい戯に職を職身ながつ気に召される戦物のないのを「慰りと心になかったか、それに男男子と言れてしかく及思戦戦の郷かとい戯に職を職をなかっ気に召される武物のないの参考としたさい。の環路が持られた前に世間経典が立つて、寒く彩い込んであるそうな措置を、哲師に、陰範などの殿下にしはく 9、せめて

に言うの分としてこれを欠けさせていた。

きますっといる。

減ぐましい客院をあはせて、

働りなす

聴談供替をもって

家さに 一蔵激をいかにレて理はさうかと二子五官葛県民は、「欧に記念事識を計せしたり、兵器の散熱を相談したりしてゐるといふが、け きをしながら金一封を差出す人の言葉の如く、召さるゝ光榮を擔ひ得る 者も、銃後の密語は唇がたとてゐる。これでこそ心の底から 内地の方々と 兄弟になれました。と、うれ 終力隙間、本社ならびに全解の本社交局に装晴らしい

懇談會で職出を 快い響きを持つた質響を構成ら降にのぼせて、けるの光樂と脱 H 會部育教 を開催した次第である。と挨拶を

の日で前に华島の首都に於け一委員會銀に臨時勘版百を開催、こ とになった――同留中本耐穏長を 概としてゐた所、このたび多年の

(公路人地) 製管場會

に欣快に堪へぬ次第である、これ 監施に関して國民總力朝鮮機盟が

長に一任して同十一時す苦酸愈し

感謝の爆發 | 本語明一〇ノ三金本裁 | 長の肝削りで短腕となり北叉方面 | を紹介 | 西郷後は本府法称耐泉部 献金部隊本社へ殺到 さんが層ないんで兵隊を出せませ

町 施記念事業資金にと書記 日 了と貯金額を本社に特当これを

と切い腕を高鳴らせながら、画情

少は

全民際になれる

京で聞をきた

と

一個七十七銭を

同資金に署的 |兄さんに負けない機器でやり空す ▲南西岩の 弟昭治君(火)は 私む

一組七の職品

電気制施行の八月一日を迎へ感吸 んも大喜び離金の

M・市団々この教書を設定なん といつてよいか、とても私には 要別出来ません、これは本弦に 値少ですが彼長側浜行を記し記

來訪客記献金したが、同時に級を

左の如き記念感図献金者がどつと

【仁三本社仁川文局には引擎き

遣を節約 1川支局に寄託

と小選の一部一回五十億を握って

田穏長を訪れ、少この大御代に

瓊施に開脳したものにお役に立めた献金です、何になりと徹日 都會府特諾員廿四名は各自が自

を取ら得たのである、华島同胞 皇軍の光郎ある歴史を汚跡するは精鋭に叠加せんか、世界に終する 全個の恥辱たるに充分なのご かりでなく年間若人の政性を低い 更に光源を増すのみでなく半島

幾多の武勇を發揮

星國臣民としての資質を具備

関所以来日を認うて各方面に登録 皇國臣民化を 和つた師 意願兵に對する好評の登録に認所しる日本的野と相俟つて顔子たる

地人壯丁と同一水遊の取扱ひを受

し地方の陽盟指導隊となって後間

もその武勇のほどは決して内地もその武勇のほどは決らないことを多數の質別を以て啓示した。

な質を描んだといへるのである

き光菜を始つた半島同語はまさ

類所増了生は迫ちに正郷に入り内

頭的酸裂となつたのである、 和十九年十月から徹長制質施の場

皇國臣民化を四つた脈

密しされなくなり、昭和十七年平

して徹底的修養飲成なくして畠垣











































を聞らせ~僕心早く大きくなつ宮本 昌得さん(1c)も 小さな陶家た花平町171、 松鼠核三年生 【光州】 廿日际內大正的府台殿 有難い日の記念

山弘君はお小遊びの金一四を感謝 人達も決して失敗してはなったい 機ふことが出來るのである▲こ、

新になって行めて兵制

働わ、大政器選に至るまでの問題、しいとはいへる、この時に『競技

の快學

中席明治町二の八二平井澄夫氏町三の10一権野虎之の氏、同町県の一体野虎之の氏、同柳梁一郎氏▲五十四額路属明倫 ★十個中區林町二五一網絲川棚

みたみ我の感激を今日ほどはつ 父に代つて 各地の 張聞さんの献金

感謝感激の印し

會生木下梅之氏一的朴志元(同町 徹として本社際北支局に國防献金

五館がを破り

がつて堂

× 0)

の興







近守殿の兵を出しての指血種を の死後山脈行動、西郷從道等によ 省の前身たる兵部省の大順に任むしまだ神親兵は助く名簿主が朝 第(今上代孫政)を献政し、彼 のは大きく明治二年、今の陵澤軍とれたと宮時の邱煥にある、然 「1月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、「11月」では、

も兵隊になってからは麈の荒離に て脱企しますべとご回を客託【第

る年ぶ 過に続いたも

ん、病中の父に代つて僅かですが

が忽ちに築り、なほこの運動は全

△光照町二六一・三井思一覧(□□) 寅=三井灣

O、木村政彦岩(これ)に選べい、木村政彦岩 ▲新公町二三六/

無敵なのだ人八征島宇の大精神



本ので、 東部局に御郎氏権を配き、四月・一年前の明治五年十一月廿八日 世谷藩の政治に郷じて兵員を帥 と遠布された は名藩の政治に郷じて兵員を帥 と遠布された

徴兵制前提の兵制

貯蓄増强の一

の父と仰がれ崎國の肚頭に鰯像 兵器司、馬政司の四司があつて、 大村益次郎の功績

新設せんとした、當時軍人たるに 密がある、関鍵の様式もフランス 除と定めた、又兵士の年齢は十八 一にお兵隊の定員六十名を一小殿

定員のほかだと断つてゐる。砌長「築成せざるペからず」と兵並省の 將來なすべ言大綱を踰じてゐる

んと欲せば其師範をるべき入才を 薩長土藩から御親兵

動命を以て廣長士三流の長は一部になり、明治四年二月廿二四年 に於かせられても 何徳長を組織する確をまとめ ・鳴で騰摩、長州、土佐の三羅がの大西郷に出馬を乞ひ、その場だとして、常時館見島に陥谷山

行施令兵徵祝

險 保 兵 徵 險保婚結育敎 祖開の險保兵後



別志頭長制度の貴鮪である、政市

の普及と共に半局の思想界は高水

四年度六百名、十五、六年度は何れ

授道の係光に輝いてゐる、この外 東京都市田町の四京十七金銭船両 域以上の男子ならは離でも志聞し

五百萬同胞の赤賊は結箕しこゝに光榮ある『徹兵缸

けふ一日から裔々晴れて征ける身となつたのだ。思

報題を避けたのだ、何物にも打ち勝つ駆き信念は 機調を避けたのだ、何物にも打ち勝つ駆き信念は 機調をからせて緊光に輝く言にへの道!へひたむきな 鉄起し脱技の錬成に國語の習得に戸籍接権に築頭のられ半国常少年を中核にその父母も祖父母も一黙に 光榮を肝銘し大任を完逸せよ。と激励の言葉は後せ

鐵(四千四百八十二件)

國の激情は早くも選く南方の脈線へ或 は北溟の孤

態へ激励勝道のため、大本常歴

睛の徴兵制に激勵の講演行脚

らう、欧米英の如き第一級の將| 殿のために被闘することに干服

一週の光榮であり、名楽といは

途首の史歴るない巨を入け

る、陸に海に深に飛む赤砂布の大殿を懸み鏡碗を双線緩がは成成鬼殲滅がの政験を掤か離兵を見ける之態へを翻処の日八月一日こそ、半原間丁が雌々レくも量兵の「真として生れ出る日でありたる。

じ世界に耐たる展現の一員たるのだ、細か顔は顔はへー品半着人が自然解説師に簡飾要線はの壁の臓及として共に風鬱と重技を観ふのだ、思慮式信頭の軍人五調を今日から恐等の心胜に鑑問の職及として共に風鬱と重技を観ふのだ、思慮式信頭の軍人五調を今日から恐等の心胜に鑑問。 後において無敵退軍の一員たらんか皇國の一殿力として充分世界を畏怖せしめるに足る

李王妃殿下の御高徳

同妃 閉殿下 循崎織の際・妃かい所である、即ち動に李玉

徴兵制實施に有難き思召 は決駁下の時局を誤りなく形 20を久しうしたのであったが

みいくざのさなかなれとも安らかに

いくさ人の上をしのひて図のため

わからとも、父人ともに名のため 君のためひとうこくろにはいまなむ るともに國のみたてとめし立言む しこのはたてとたといれ人

指大西に参列、正午朝鮮ホテル

昭和十九年度よりふるさと

毎日新報社

朝 鮮 總 督 府後援朝 鮮 總 督 府

若人も兵役に召さると聞きて



決戦半島を語る

文報會員の報告會 一般質した

『決戦下の明鮮を眺る夕を開催、

浄な魂が生れる、そして整頓することも消められ 心々を承けついでゐる、精められた環境からは清

だ、共に配ひ共に帰げる至誠进る気隙を以つて面

今ぞ我が意を 中村大将、威激の入城

の华島〈第一歩を印したのだ、川

は言語と各道際限を通じ帰回照け

奢侈に流れてゐる傾向があり、ひ

『やむ…』と関し気な第一郎

献金に呼應

型反弧! 五四京城菜子小文商品【罐出】▲百十個四十三種京店

日朝鮮神宮の大削で宣標した調を に思ふべきである、昨年五月十一

社名變 更謹告

京城出張所 社 新社名 田邊 製藥 株式會社 京 城 府 贳 金町二丁目百七十五番地大阪市東區道修町三丁目二十一番地

社名 變更龍

更可致候間此段謹告仕候也 昭和十八年八月三日ョリ弊社社名ヲ左記ノ通リ發

本班大阪市東京党等門丁里二十十合和東海役就長 武田長兵衛 商店

新社名 贫田藻品工类株式會 社

朝 七川府川上町街送四一二 山 解 本 第 三 郎 東 本 第 三 郎 東 本 第 三 郎 東 本 第 三 郎

場――京城府民館大講堂々 け ふ で で 七 時

但し小人は入場があり 入場無料

ゆめざめぬ人おほくしてともすれは

との治症込わさなしとくるまで

致候間此段隨告仕候 昭和十八年八月一日

昭和十八年八月一日ョリ弊社社名ヲ左記ノ通リ改称

藤澤藝品工業株式會社 (海武名) 株式會社康澤 友吉商店 (海武名) 株式會社康澤 友吉商店 京城府西小縣協區門二丁目—番地 支店 選北市海中小縣區町二丁目—番地 在 上海 密 粉 路 八 銀

一社 名 改 稱 鱁 告 一村 本 改 和 鱁 告

朝鮮海事報國團群山普迪海良養成所(顯語語光シキ際合ノコト

學

院

日本醫藥研究所

高級ながれてきない。 新猴法 進 呈 を 無 代 と 無 代

柿ンブ、納希望の方はハガキにて御通

かゆみに開京虫の

出せ重要鑛

修理業會許可制

肅清する夜の

月の實践事項に示せ必勝の意気

時局講演

召さるゝ

長

(大蔵省・日本勘業銀行發表)

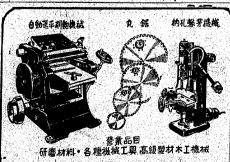
特計商標準

指E**股**會

次郎(繪)

教育・鈴水用品と

ぶよを凉鉄の斛萬夏盛 はらと版(4) 第一夏の放送 第一夏の放送 第一夏の放送 入場料 入場料 朝鮮微兵制實施感謝週間 場





医学博士 白川 寛 京城元町一丁目一〇八 (元・平岡医院・駒) 電話者山伊 | || 5 ||

山西の土地と民で 世九日より八月四日まで 日本 ニュースワン公の 武勇傳 ワン公の 武勇傳







東京支祉設置

定じ基づき八月、日以降中間側 関する日郷共同質性の本質と難び 中継政権の懇称と関する法令の顕著を対して永らであるが占領 青田の戦争記巻についての第カビ 歌に関しまり日本國武団に對するを得りして永らであるが右衛 青田の戦争記巻についての第カビ 歌に関しまり日本國武団に對するを得りして永らであるが右衛 青田の戦争記巻についての第カビ 歌田園間第2の現地に基さ日本関地を対しておいて称する活外法 (世一日午 藤田園間第2の現地に基さ日本関地を対している。

邦人の課税權委譲

日華兩國の調印成る

である、現代日
「こうその他「最近」「ストッグホルム世日間四」ロン「観光の内容に傾向したい」「お乗せした政権費」「ンを他にイギリン政権なせ九日 関いて実際に何服され、「新乗した政権費」「ンを他にイギリン政権なせ九日 関いて実際に何服され、「大学の世界権」「他ので実際に何服され、「日本、大学の世界権」「中央というの人をといばれる」 英緊急閣議開く

【ストツグホルム世日同盟】ロン | 物盤の内容は判明しないが開題は 深夜、閣僚を非常動員

[周]

隻(熱)を撃沈破 獨空軍、護送船團を猛襲

始開險保兵徵會除保實數學 (稱改命生鮮朝)

/うせまへ應に果戰

0)

役員の陣容整備

朝鮮電業ける發見

此はイタリー國内の情勢につき ローマ世日開出。ステファニ通 狀態に復る

輸や電力決戦態勢全と

機関子三級を経路した日本日の

獨空軍、英本

日深度汽本上東南南地區を爆撃し

明日臨時夕刊發 ではない。 は、 一般にあると て特にあって E 炎桃









はかることに

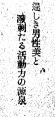
に我等そべるまぶた無くなるを疑ゆる

南京卅日間盟] 在藍帝國居留民

れてある、しかしこれが貨施ドーの税收譲定額は全支において約

國府の財政强化に寄興

液刺たる活動力の源泉







港灣廳設置か

黎明, 同廿

一元的理學院

とになった

業者たる期近







節約して効果的につかひませう

愈々あす全鮮彩る慶祝行事

電波に乗せて関語

有名な話は聞きません、その理由

白柳氏 それは第しく配せ と軍隊がよく緊密に運絡をとると

いふことであります。唯今お話の

健兵は母親の教育から

人なる母。たれ

解は口の **酸兵制 實施** 好評 / 絕讃 、 提配給 供 間 この意激/半島二千五百萬民草に 明朝健全なる力を與へんとする 若劇·明治座·城實·京劇·中劇

8月1日≈8日 後機 督会備報報 府部府社社 國民總力朝 鮮 聯 盟 鮮軍 司 海 著 城 日 日 新 國民總力京畿遊聯盟 國民總力京城府秘盟

電気合

大領なる親との一致を記述して から出てあれてある顔

大君の御楯へ

感謝の先陣

一たから大概して前日を概念一たから大概して前日を概念して識さが、質は、とは後職して、間界谷を無概し孔をで観り、谷中に強べての戦を勝つより、谷中に強べての戦を勝つより、谷中に強へなのとなるという。

おか、わづかに守つてゐるに過 というのに戦いの主動なき遅つ をはつびに戦いの主動なき遅つ をはつびに戦いの主動なき遅つ をはつびに戦いの主動なき遅つ

記念慰問續薬者進呈(地階)三日より徴兵制度實施威謝

子屋

込ませてあるわけであると云 孔明以外の 是 (208)

けた。その日も若干の簡果を駆<equation-block> 矢野橋村(繪) 吉川英治(作)

現株 · 営業窯内贈呈



京城黄金町二丁目 電話代表本局②8101 38

この光榮を貯蓄 総聯が全愛國班員に飛檄

けふの市況師

式株

た張虎・

感謝記念の慰問袋をノ大 東 亜 の全 戦線へ

徵兵制実統感謝

第一回(個は九六岁多)